

李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」確認テスト（漢詩） | 定期テスト対策 | 誰でも古典  
塾

組 番 氏名

/100点

本文

黄鶴楼送孟浩然之広陵 李白

故人西辞黄鶴楼  
烟花三月下揚州  
孤帆遠影碧空尽  
唯見長江天際流

【書き下し文】

黄鶴楼（こうかくろう）にて孟浩然（もうこうねん）の広陵（こうりょう）に之（ゆ）くを送る 李白  
故人（こじん）西（にし）のかた黄鶴楼を辞（じ）し  
烟花（えんか）三月（さんがつ）揚州（ようしゅう）に下（くだ）る  
孤帆（こはん）の遠影（えんえい）碧空（へきくう）に尽（つ）き  
唯（た）だ見る 長江（ちょうこう）の天際（てんさい）に流（なが）るるを

【語注】

○故人=古くからの友人。旧友。ここでは孟浩然を指す。

- 西辞＝（揚州から見て西にある）黄鶴楼に別れを告げて。
- 煙花＝霞がかかり花が咲き乱れる、うららかな春の景色。
- 三月＝陰暦の三月。晩春。
- 下＝（長江を）下流へと舟で下っていく。
- 揚州＝広陵。長江下流の繁華な都市。
- 孤帆＝ただ一つだけ浮かぶ帆かけ舟。友の乗る舟。
- 碧空＝青空。
- 尽＝（青空の彼方に）消えてなくなる。
- 唯見＝ただ～だけが見える。
- 天際＝空の果て。水平線のあたり。

## 設問

1. 題「黄鶴楼送孟浩然之広陵」を書き下し文に直せ。
2. 第一句「故人西辞黄鶴楼」を現代語訳せよ。
3. 「故人」とはここでは誰を指すか。また、この語の意味を答えよ。
  - 誰を指すか。
  - 「故人」の意味。
4. 第一句の「西辞」から、孟浩然が向かう揚州は黄鶴楼から見てどの方角にあるとわかるか答えよ。
5. 第二句「煙花三月下揚州」を現代語訳せよ。
6. 「煙花」とはどのような情景を表す語か。簡潔に説明せよ。
7. 第三句「孤帆遠影碧空尽」を現代語訳せよ。
8. 「孤帆」とは具体的に何を指すか。また、「孤」の一字に込められた感じを説明せよ。
  - 何を指すか。
  - 「孤」に込められた感じ。
9. 「碧空尽」とは、何がどうなる様子を述べたものか説明せよ。
10. 第四句「唯見長江天際流」を現代語訳せよ。
11. 「天際」とはどこを指すか答えよ。
12. この詩の漢詩としての形式を、漢字四字で答えよ。
13. 前問のように判断できる理由を、「一句の字数」と「句の数」の二点から説明せよ。
14. この詩で押韻している漢字を、詩中からすべて抜き出せ。
15. 第一句から第四句は、漢詩の構成上それぞれ何と呼ばれるか。順に漢字一字で答えよ。
16. 第二句の「下」は、友人がどの方向へどのような手段で移動することを表しているか説明せよ。
17. 第三・四句で、作者はどこに立ち、どのように友を見送っているか。その様子を説明せよ。
18. この詩全体に流れている作者の心情を答えよ。

19. 第三・四句では、去りゆく友の心情ではなく、ある景色をひたすら描くことで作者の思いを表している。  
このような表現の工夫を何というか。漢字四字で答えよ。
20. 作者の李白は、後世どのような呼び名で称されるか。漢字二字で答えよ。
21. 送別の相手である孟浩然も、李白と同じ時代を代表する詩人である。この時代の呼び名を漢字二字で答えよ。
22. この詩の季節はいつか。本文中の語を根拠として挙げて答えよ。